



平成29年度 第2回まなびあいサロン

テーマ：『補聴器や人工内耳～きこえの環境はだいじょうぶ？』

アドバイザー：本校自立活動支援センター 石垣 太郎 先生

7月3日（月）に、第2回まなびあいサロンが行われ、みみちゃん教室や本校幼稚部の保護者の皆さん、幼稚園の先生など、10名が参加してくださいました。

今回は、補聴器や人工内耳、骨導補聴器の仕組みやお手入れの仕方、聴力検査結果を示した図（オーディオグラム）の見方などを楽しく学び合いました。

また、子どもたちに補聴器や人工内耳などが便利な道具だと思ってもらうための配慮点についての話もありました。できるだけ静かな場所で顔を見ながら、はっきりした声で単語を意識して話すことで音に集中する力がつき、表情や身振りを加えると、話し手の気持ちが伝わりやすくなる、とのことでした。



さらに、補聴器や人工内耳などを大人が大切に扱っているという様子を子どもに見せると、子どもも「大切なものだ」という意識がもてるようになるそうです。

参加された皆さんからは、アドバイザーの石垣太郎先生にたくさんの質問があり、お一人お一人の疑問や悩みが解消されたまなびあいサロンになりました。



参加者の感想



- ☆ 補聴器の管理で注意しなければいけない事など、色々な話しが聞けてよかったです。聴力検査の見方もわかり、子どもによりよい環境をつくっていきたいと思いました。
- ☆ イヤモードやチューブにも手入れなどが必要だということがわかりました。
- ☆ 人と話すとき、なかなか相手の顔を見ないで話しをするので、私も子どもの目なるべく見て話しをするよう努力してみようと思いました。